



自転車すいすい55プラン 3年間の成果

～取組の概要～



自転車と歩行者が適切に分離された空間の整備

平成25年度から平成27年度までの**3年間**で**55箇所**、**50km**整備

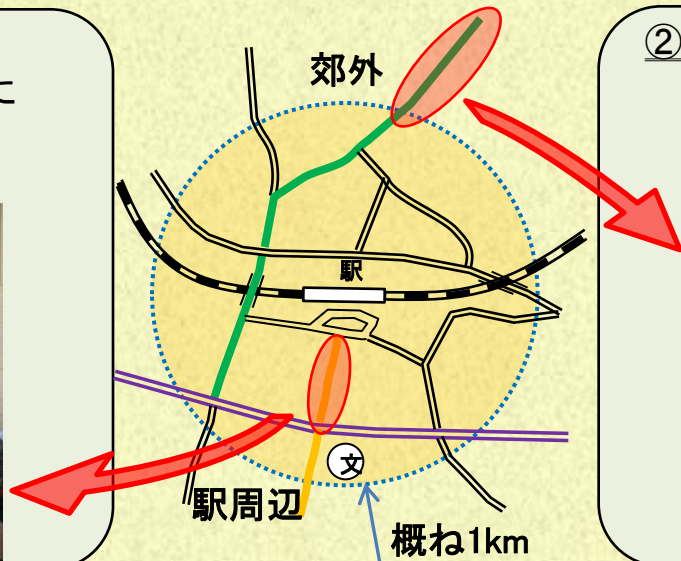
①【まちなか安心自転車レーン】

概ね駅周辺1km圏内の道路に
青いレーンを整備
【30箇所 23km】

熊谷停車場線／熊谷市



自転車レーン



②【わけて安心自歩道整備】

郊外の自転車歩行者道で自転車と
歩行者の通行位置を明確に分離
【25箇所 27km】

国道122号／蓮田市



宅地側を
歩行者が通行

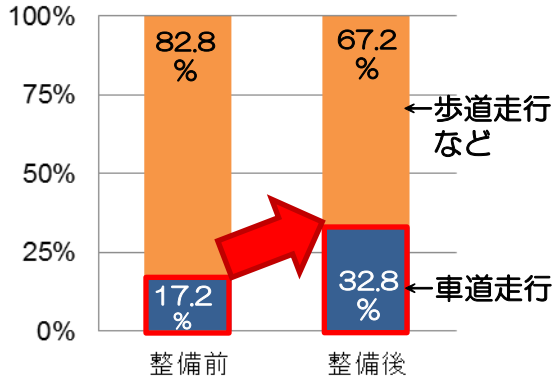
車道側を
自転車が通行

自転車すいすい55プラン 3年間の成果

～自転車通行空間の整備効果～

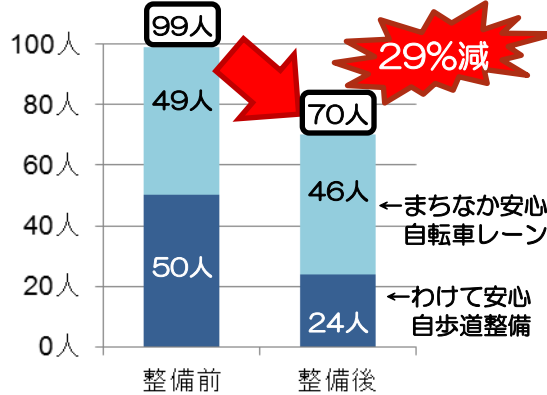


まちなか安心自転車レーン 整備箇所における走行状況



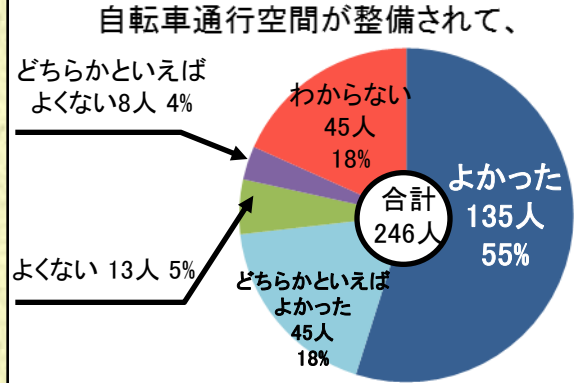
ルールを遵守して車道を
走行する自転車が**倍増**

整備箇所における 事故状況



自転車が関係する事故の
死傷者数が**29%減少**

整備箇所における 利用者の満足度状況



利用者の**73%**が**肯定的**

自転車、歩行者の安全性が向上！



今後の取組



さらなる事故防止のため、ルール遵守の徹底、自転車レーンの連続化が必要

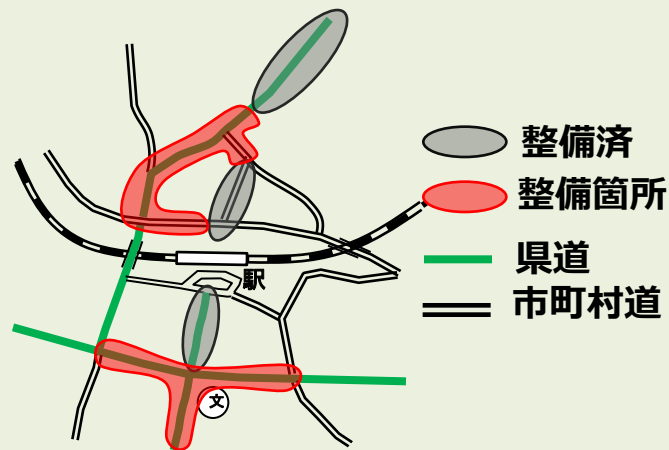
- ① 自転車レーンの利用を促進するため、警察、市町村と協働で啓発活動を継続



警察では駐車違反や悪質な自転車違反の取締りを推進

**レーン利用率の底上げ！
交通ルールの遵守徹底！**

- ② 駅周辺を市町村と協働して連続的に整備



自転車ネットワーク構築！